

環境対応MC収納BOX(DC版)

2011. 4. 1 (4 版)

DNHD1E—DC

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読み下さい。

製品仕様はHP上の仕様書を参照下さい。

URL <http://www.dyden.jp/network/>

安全にご使用いただくために(使用上の一般的注意事項)

指定用途以外には使わないで下さい！

本装置は直流(DC)供給電源からDC3.3Vを出力するDC電圧内蔵収納BOXです。
大電製の小型メディアコンバータシリーズ(ポートセレクタ含む)及び接続出力アダプタへの
電源供給以外の用途ではお使いにならないで下さい
また仕様の項目を超えない範囲でお使い下さい。

分解しないで下さい！

取付けてあるカバー類は取り外さないで下さい。分解された場合は一切の保証をいたしません。

製品は大事に扱って下さい！

誤って落としたり、ぶつけたりしますと製品の性能を低下させますので十分にご注意下さい。

異常が起きたら直ちに使用中止！

使用上、煙・臭い・発火などの異常に気がついた場合には、直ちに使用をやめ点検・修理に出して下さい。

条例に従って産業廃棄物として廃棄して下さい！

本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って産業廃棄物として処理して下さい。

電波障害自主規制について！

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。

本製品のご使用にあたって！

本製品は、人命に関わる場合(医療、航空、原子力、軍事等)や高度な安全性や信頼性を必要とするシステム
への使用または機器組込みでの使用を意図した設計および製造は行っておりません。
従いまして、これらのシステムへの使用や機器に組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは
第三者に損害が生じて、かかる損害が直接的、間接的または付随的なものであるかどうかにかかわらず、
弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任におきまして、このようなシステムへの使用または機器に組み込んで使用する場合には、使用
環境や条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策などの安全性・信
頼性の向上対策を施すなどご注意ください。

大電株式会社

弊社が製品に貼付する取扱説明書は環境に配慮したインクを使用しております。

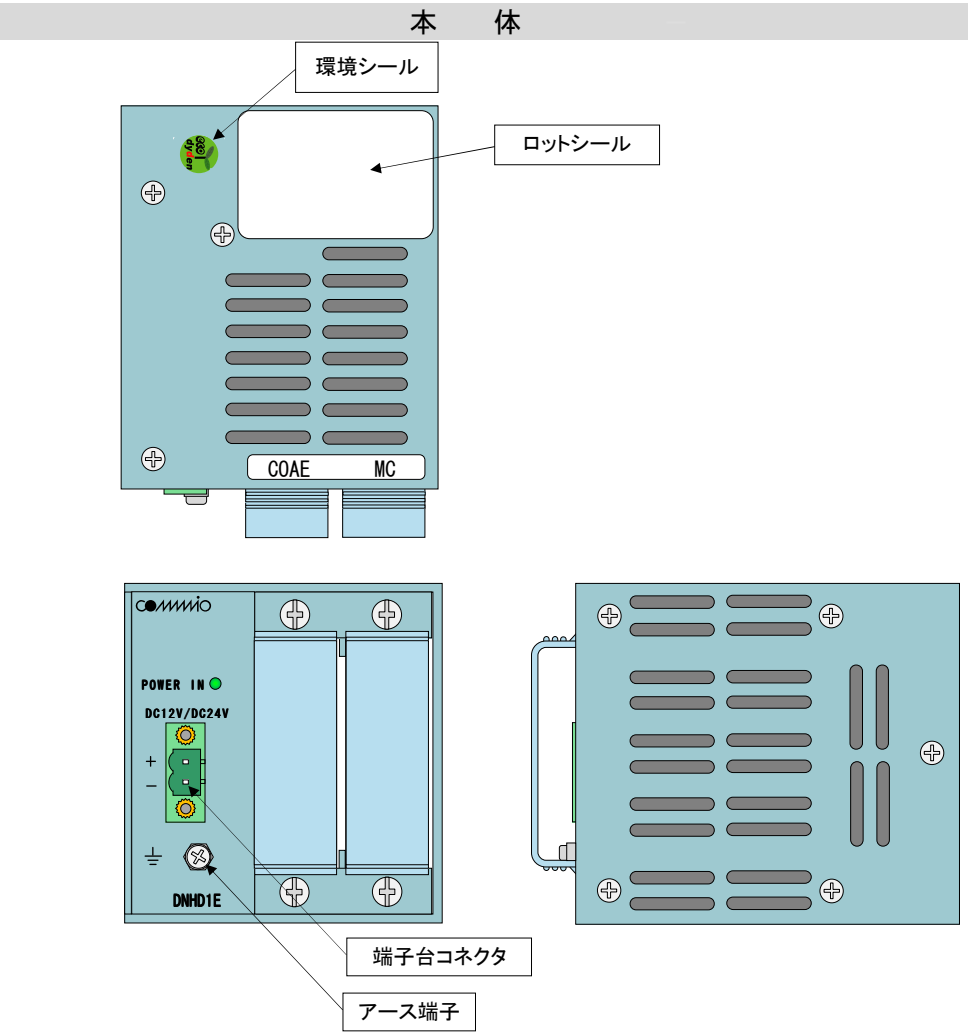


- ・指定の直流電圧以外で使用しないで下さい。
指定電圧以外で使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- ・入力電源の接続はブレーカをOFFにしてから行って下さい。
電源の短絡事故や火災、感電を招く恐れがあります。
- ・電源の接続は相応の訓練を受けた人が行って下さい。
電源の短絡事故や火災、感電を招く恐れがあります。
- ・アース線を必ず接続して下さい。
アースを接続しないと感電の原因となります。
- ・水につけたり、水をかけたりしないで下さい。
漏電による火災や感電、故障の原因となります。
- ・浴室や加湿器のそばなど湿度の高い所では使用しないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。
- ・静電気注意！
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、
コネクタの接点部分・部品などに素手で触れないで下さい。



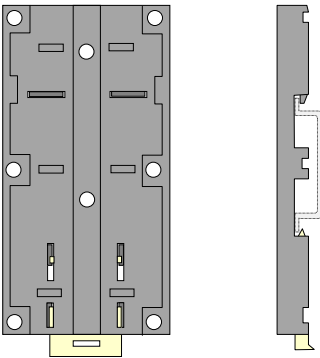
- ・電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いて下さい。
電源コードを引っ張るとコードの損傷が発生し火災や感電の原因となることがあります。
- ・濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないで下さい。
故障や感電の原因となることがあります。
- ・アース線の接続及び取外しをする場合は、電源コネクタを取り外して下さい。
電源を接続したままアース線の接続や取外しをすると感電や故障の原因となることがあります。
- ・本器をストーブなどの熱器具のそばに置かないで下さい。
火災や感電の原因となることがあります。
- ・本器を直射日光の当たる所や温度の高い所で使用しないで下さい。
内部の温度が上がり火災や故障の原因となることがあります。
- ・隙間に針金や金属物などの異物を入れないで下さい。
内部に触れ感電やけがの原因となることがあります。
- ・本器をほこりの多い所や油煙のあたる所で使用しないで下さい。
火災や故障の原因となることがあります。
- ・本器を不安定な場所または振動や衝撃の多い場所に置かないで下さい。
落下などにより、けがや故障の原因となることがあります。

1. 装置各部の説明／付属品.



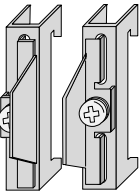
付 属 品

(固定板).....本体をDINレールに固定する場合に使用します。

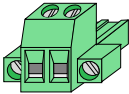


(固定板取付けネジ).....本体に固定板を取付けるためのネジです。
〔M3×6mm 2本〕

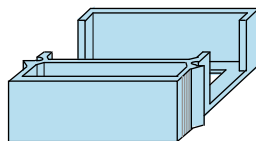
(DINレール固定金具).....本体がレール方向に移動するのを防止します。
〔2個／1組〕



(端子台ブロック).....DC電源の入力配線に使用します。



(ブラインド)・・・本器1台に対してブラインド2個が取付けられています。
メディアコンバータおよび接点出力アダプタを実装する際に取外して下さい。



別 売 品

下記部材については、添付していませんので別にご準備ください。

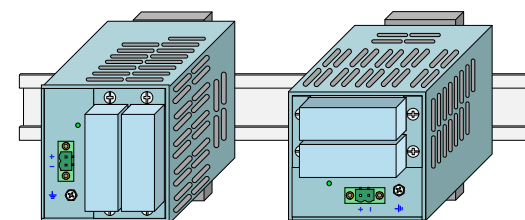
- ・電源コード：
電源入力の配線には、AWG18～AWG12($0.75\text{mm}^2 \sim 3.5\text{mm}^2$)の電線をご使用下さい。
- ・アース線：
公称断面積 0.75mm^2 以上のビニル絶縁電線(IV)等に圧着端子を取付けてご使用下さい。

2. DINレールへの着脱

手順①: 固定板の取付け

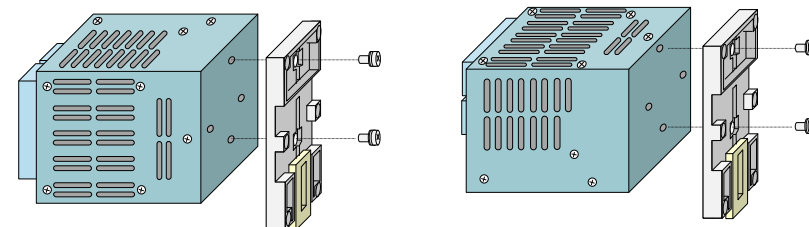
付属のネジを使用して固定板を本体に取付けて下さい。
垂直もしくは水平に設置できますので、設置向きに合わせて固定板を取り付けて下さい。

垂直設置（基本） 水平設置（注）



＜垂直設置時＞

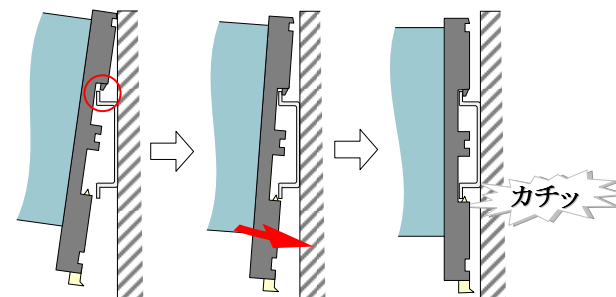
＜水平設置時＞



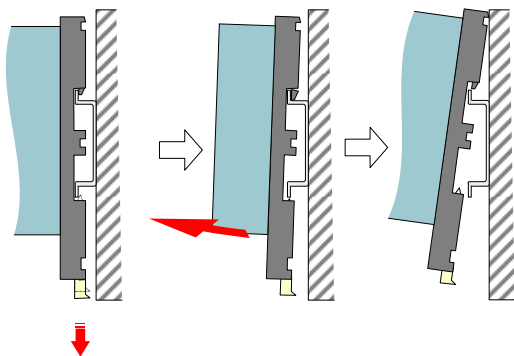
注：水平設置で接点出力アダプタを実装する場合は、動作温度範囲はメディアコンバータの保証温度上限よりも 5°C 低くして下さい。

手順②: DINレールへの着脱

【取付け】固定板の爪部をDINレール上端に引っ掛けてから押し込んで下さい。
※スライドが「カチッ」と音がするとまで押し込んで下さい。

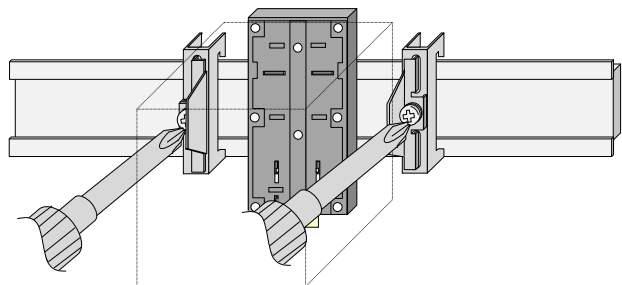


【取外し】固定板のスライドを引き下げた状態にして引き上げます。



手順③: 止め金具の取付け

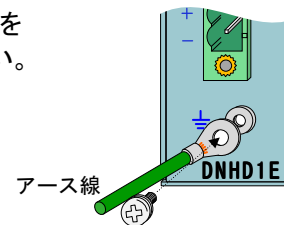
固定板によりDINレールに取り付けた状態では、DINレールの長手方向にスライドする可能性があります。必要に応じて付属の止め金具を本体の両サイドに取付けて下さい。



3. 電源の接続

手順①: アース線の接続

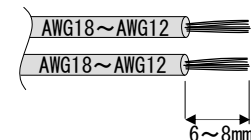
圧着端子等を取り付けたアース線を本体のアース端子に接続して下さい。



手順②: 電源の配線

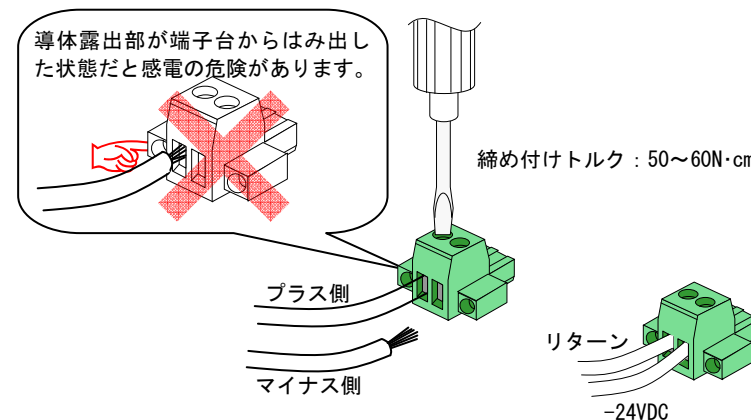
- ①DC 電源ラインの回路ブレーカを遮断し電気が流れない状態にして下さい。
※装置の異常等により過電流が入力された際に出力側の保護を行うためのヒューズを内蔵しています。ヒューズが確実に溶断できるよう電源は 3A 以上の供給能力があるものにして下さい。

- ②電源コードの被覆を約7mm剥ぎ取り導体を口出して下さい。



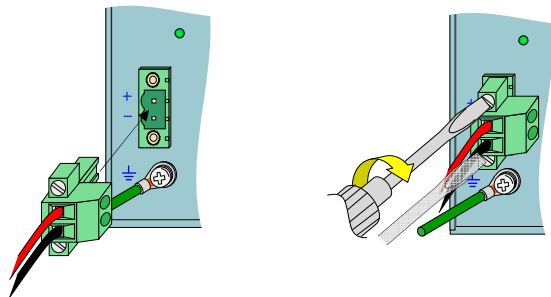
※導体部に予備ハンダをしないで下さい。
接触不良の原因となります。

- ③端子台ブロックに電源コードを差込み、上部のねじを締め付けて下さい。
※プラス側とマイナス側の極性を間違わないように注意して下さい。
※-24VDCなどの負電圧電源に接続する場合、帰線(リターン)をプラス側、-24Vラインをマイナス側に接続します。



④端子台ブロックを本体の電源コネクタに差込んで下さい。

端子台ブロックの固定ネジを締め付けておくことで電源コネクタの抜け防止を図ることができます。

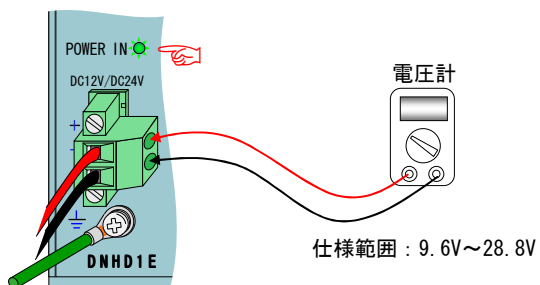


⑤電源のブレーカーをONにして下さい。

本体の電源表示LED「POWER IN」が緑色に点灯することを確認して下さい。

※電源スイッチをONにする前に、供給電圧が仕様範囲内であるか、極性が間違っていないかを確認することをお勧めします。

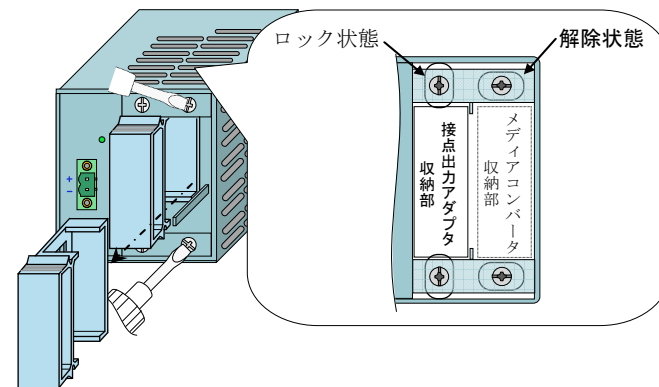
注)仕様電圧範囲を超える電圧を印加すると故障する可能性があります。



4. メディアコンバータの取付け

手順①:ブラインドの取外し

メディアコンバータを実装するスロット部の両端(下図では上下)にあるロックネジをドライバーで90度回転させ解除状態にしてブラインドを取外して下さい。



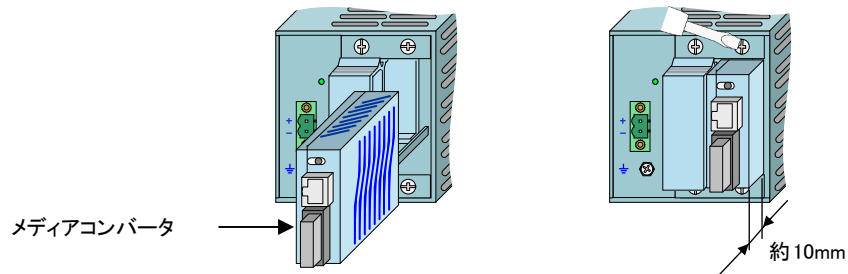
手順②:メディアコンバータの取付け

ブラインドを取り外したスロット部にメディアコンバータを奥まで挿入して下さい。

本器の板面から10mm程度突き出た状態が正常に装着された状態です。(ブラインドとはほぼ同一面になります)

本器の電源が投入されている場合には、メディアコンバータの電源表示LEDが点灯することを確認して下さい。(メディアコンバータの電源表示LEDについては、メディアコンバータの取扱説明書を参照下さい)

メディアコンバータを奥まで差し込んだら、両端のロックネジをドライバーで90度回転させメディアコンバータをロックして下さい。



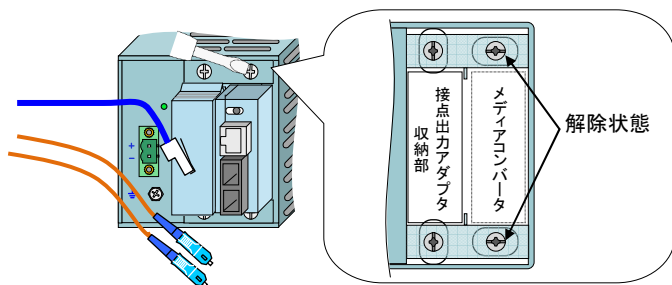
5. メディアコンバータの取外し

手順①: 配線の取外し

メディアコンバータに配線しているUTPケーブルや光ケーブル等の配線コネクタ類を取外して下さい。

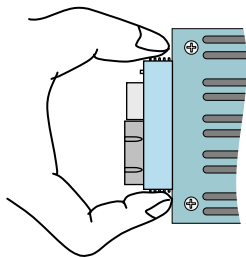
手順②: ロックの開放

メディアコンバータの両端にあるロックネジをドライバーで90度回転させロック解除状態にして下さい。



手順③: メディアコンバータの取外し

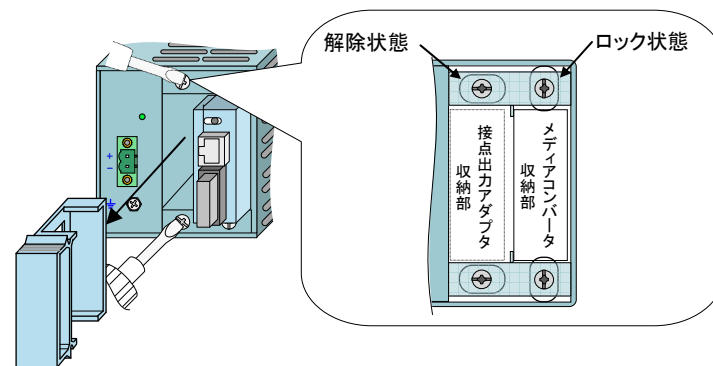
メディアコンバータの側面を指でつまんでゆっくりと引抜いて下さい。
※ロックネジをきちんと解除していない状態で無理に引抜くと、メディアコンバータのケースを破損したり、本器のロックネジ部等を変形させる恐れがありますのでご注意下さい。



6. 接点出力アダプタの取付け

手順①: ブラインドの取外し

接点出力アダプタを実装するスロット部の両端(下図では上下)にあるロックネジをドライバーで90度回転させ解除状態にしてブラインドを取外して下さい。



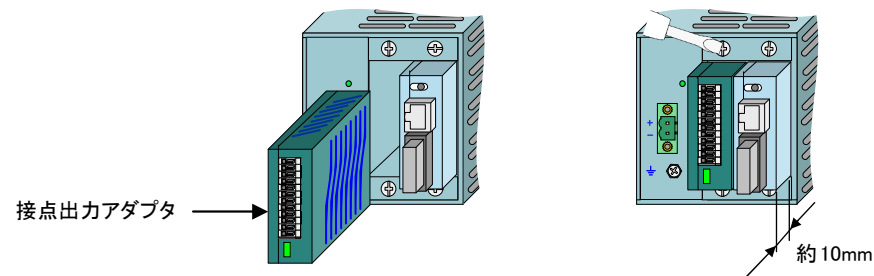
手順②: 接点出力アダプタの取付け

ブラインドを取り外したスロット部に接点出力アダプタ(DNCOAE)を奥まで挿入して下さい。

本器の板面から 10mm 程度突き出た状態が正常に装着された状態です。(ブラインドやメディアコンバータとはほぼ同一面になります)

本器の電源が投入されている場合には、接点出力アダプタの電源表示LEDが点灯することを確認して下さい。(接点出力アダプタの電源表示LEDについては、接点出力アダプタの取扱説明書を参照下さい)

接点出力アダプタを奥まで差し込んだら、両端のロックネジをドライバーで90度回転させ接点出力アダプタをロックして下さい。



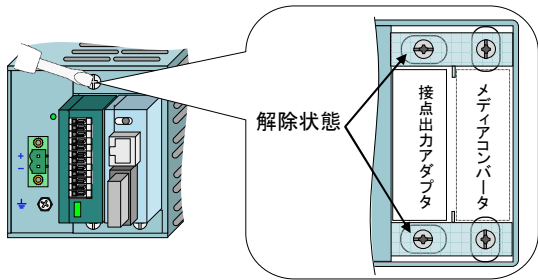
7. 接点出力アダプタの取外し

手順①: 配線の取外し

接点出力アダプタに配線しているケーブル類を取外して下さい。

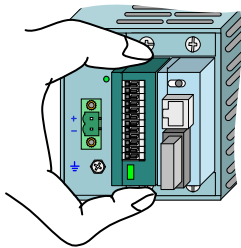
手順②: ロックの開放

接点出力アダプタの両端にあるロックネジをドライバーで90度回転させロック解除状態にして下さい。



手順③: 接点出力アダプタの取外し

接点出力アダプタの側面を指でつまんでゆっくりと引抜いて下さい。
※ロックネジをきちんと解除していない状態で無理に引抜くと、接点出力アダプタのケースを破損したり、本器のロックネジ部等を変形させる恐れがありますのでご注意ください。



8. 装置の電気仕様

項 目		仕 様
D C 電 源 入 力	D C 入 力 電 圧	DC12V／DC24V (DC9.6～28.8V)
	D C 入 力 電 流	1A以下
	入 力 コ ネ ク タ	コネクタ式端子台 適用電線サイズ: 0.75mm ² (AWG18)～3.5mm ² (AWG12)
表 示 L E D		POWER IN: DC電源入力時に点灯(緑)
保 護 回 路		過電流保護、逆極性保護
定 格 消 費 電 力		2W以下 (メディアコンバータ・接点出力アダプタの消費電力は含まず)

※DN2800E シリーズ及び DN5800E シリーズの場合。
その他機種の場合には、実装するメディアコンバータの保証温度範囲となります。
(但し、接点出力アダプタ『DNCOAE』を実装して水平方向に設置する場合にはメディアコンバータの保証温度の上限値より 5℃低くなります。)

9. こんな時は

故障かなと思った場合には修理を依頼する前に確かめて下さい。

入力LED「POWER IN」が点灯しない

確認①:電源の極性は間違っていないか？
逆極性の保護回路を内蔵していますが、逆極性で長時間通電すると性能低下を招く恐れがあります。速やかに電源をOFFにして正しく接続し直して下さい。

確認②:供給電圧は仕様範囲内ですか？
本装置の電圧許容範囲はDC9.6V～DC28.8Vです。

確認②:DC電源のブレーカはONになっていますか？

負荷装置（メディアコンバータ）の電源が入らない

確認①:本器の電源表示LEDは点灯していますか？
確認②:接点出力アダプタ装着部に実装していませんか？
確認③:メディアコンバータはきちんと奥まで実装されロックされていますか？

負荷装置（接点出力アダプタ）の電源が入らない

確認①:本器の電源表示LEDは点灯していますか？
確認②:メディアコンバータ装着部に実装していませんか？
接点出力アダプタをメディアコンバータ装着部に無理に押し込むとコネクタピンが変形する恐れがあります。
確認③:接点出力アダプタはきちんと奥まで実装されロックされていますか？

環境対応 MC収納BOX(DC版) DNHD1E-DC 保証書

ロットNo. S/N (ロットシールに記載)		
お客様（御社名）		
お名前（ご担当者名）		
お客様	ご住所	
	TEL	
	FAX	
ご購入日		年 月 日
保証期間		ご購入日より5年間（センドバック式）
販売店		
販売店	住所	
	TEL	
備考		

- *保証外条件
保証期間内であっても、次の場合は保証外となりますのでご了承下さい。
- 1. 取扱説明書に記載の使用方法や注意事項反するお取り扱い及び不当な修理や改造によって生じた故障及び損傷
 - 2. ご購入後の輸送、移動中の落下等、お取り扱いが不適当なために生じた故障及び損傷
 - 3. 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変及び指定外の使用電圧による故障及び損傷

『営業窓口』大電株式会社 ネットワーク機器部 営業課

コールセンター(テクニカルサポート窓口) : 0120-588-545 (携帯・PHSにも対応)
e-mail: commnio@dyden.co.jp

東京: 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-3-9 ツインビュー御茶ノ水3階
TEL (03) 5684-2100【代表】
名古屋: 〒461-0005 愛知県名古屋市中区東桜 1-1-6 住友商事名古屋ビル5階
TEL (052) 951-1414【代表】
大阪: 〒541-0041 大阪市中央区北浜 4-7-28 住友ビルディング2号館1階
TEL (06) 6229-3535【代表】
福岡: 〒810-0001 福岡市中央区天神 2-12-1 天神ビル4階
TEL (092) 714-3986【代表】